

一年生を迎える会

20（金）、児童会主催の「一年生を迎える会」がありました。

各学年の「一年生へのおくりもの」発表のあと、最後に1年生の皆さんの発表となりました。自分の名前と「好きなもの」の自己紹介がありました。

全校の皆の前でも、一人で明るい声で発表ができる1年生は本当に立派です。「麻績小学校校歌を覚えて歌います」という発表が続き、ここでも5名の明るく元気な歌声を響かせてくれました。フロアで歌詞の書かれた模造紙を掲げていた担任の曾山先生が全校に合図をすると、それに応えて全校児童が起立し、校歌3番は全校児童での



歌声となりました。何度となく耳にして、いつも「いい校歌だな」と思っていたのですが、（大事な儀式もあったのでそこまで言っていかが迷うのですが）今までで一番心に響く校歌でした。覚えたての校歌を懸命に歌う一年生の姿、それに呼応した全校の皆さんの歌声、その一体となった響き。その辺りにわたしのうるうるの理由があるのだと考えました。感動です。

もちろん、この会の中心になって企画・運営してくれた6年生も立派な麻績小のリーダーになってくれたことを感じました。「おくりもの」発表で、2年生からは「お気に入りの漢字を見つけてね」と学習へのわくわく感を誘う発表、3年生からは「忙しい朝の時間の過ごし方」のアドバイス、4年生からは「ルールを守ってみんな気持ちよく」「困ったときにはいつでも助



けます」のメッセージ、5年生からはノックの仕方や部屋への入り方、「廊下の歩き方・あるある」など生活のルールを優しく楽しく伝えてくれました。全校の皆さんが、自分たちが学校生活で大切にしていることを、一年生にも伝えたい、いっしょに仲よく気持ちよく小学校生活を送りたい、という麻績小

児童会の温かさをいっぱい感じることでできた「迎える会」でした。

駅伝選手壮行会

28日(土)に、松本平広域公園陸上競技場を拠点として行われる、「市町村対抗小学生駅伝大会」の選手壮行会が、25日(水)朝の時間に行われました。高野忠房村長様、飯森 力教育長様より選手に激励のお言葉をいただきました。麻績村代表として出場することへの誇りや自信を持てたことと思います。ありがとうございました。全校児童からの応援エールに続いて出場選手一人ひとりから決意の発表がありました。今までの練習を活かして全力を尽くすこと、村の代表としてがんばること、ここまでの練習を支えてきてくださった家族や顧問の先生に感謝の気持ちを語るなど、頼もしい限りでした。



全校児童の心強い応援エール

【6名の選手の皆さん】

6年 高野萌々花さん 塚原 理華さん 寺沢 謙吾さん 柳澤 颯人さん
5年 雑賀 光彦さん 原笹 莉名さん

わたしは昨年度の大会を応援して感じたことを話しました。「孤独に負けないで」ということです。麻績小チームはお互い仲よく、雰囲気は最高です。しかし駅伝は一旦走り始めると、本当に孤独な競技であることを感じました。わたしたちが応援の声をかけることができるのは、目の前を通過するほんの一瞬だけ。あとは、黙々と走るのみ。周りは競争相手とその応援団です。孤独な戦いであるからこそ、たすきをつなぐ「チーム麻績」であることの一体感、そして今日の全校の友だちみんなに応援されたことを支えにしてもらえたら、と願うばかりです。いよいよ大会は明日。心から健闘を祈ります。

おみっこ応援団運営委員会

本校の教育活動を、一番身近で力強く支えていてくださる地域代表の皆様との会が20日(金)に開催されました。ご協議いただくなかで「それぞれのお立場からそれぞれのできることで麻績の子どもたちを支えたい」という温かくも熱い想いを感じとらせていただきました。「直接体験の良さを更に大切にしたい」「通学路の雪かきの不十分なところがあれば把握したい」「後継者を増やしてこの活動を続けたい」などなど。5月1日(火)には総会が催されます。一年間どうぞ子どもたちの育ちをともに支えていただければ幸いですようお願い申し上げます。

